

副町長は岩切氏、教育長に大浦氏

平成30年第2回長島町議会臨時会が7月6日に開かれ、新副町長に岩切豊氏（母良木）、新教育長に大浦慶子氏（鹿兒島市）を選任することに同意されました。

両氏の就任あいさつを紹介します。



教育長
大浦 慶子（66）



副町長
岩切 豊（60）

このたび、臨時町議会にて教育長に承認いただき、同日、就任いたしました大浦慶子でございます。長島町は、豊かな資源に恵まれており、体験やふれあいを通じた教育ができることだと思えます。読書推進においても、図書購入に尽力されています。心を育むためには、乳幼児期からの読み聞かせが大切です。最後に、子どもたちの教育には、学校だけでなく、地域のかたがたの協力が重要です。微力ですが、学校と保護者、地域、関係機関と連携し、教育の振興に努めてまいりますので、よろしくお願ひします。

私は、7月6日の臨時町議会で副町長選任に同意いただき、同日から就任いたしました岩切豊でございます。副町長のお話をいただいたときは正直迷いましたが「やらないうで後悔するより、やってみて後悔する方がまだましだ」と思い、議会の同意を得られるなら、やらせてもらおうと決心したところでした。もとより、浅学非才で、前任の石塚政廣副町長の足元にも及びませんが「夢と活力があり、福祉の充実した町づくり」のため町長の補佐役として誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願ひします。



↑協定書を手にする関係者

より良い町づくりを目指して 農・漁協、金融機関と協定

本町は、農・漁協や金融機関8団体と地方創生に関する連携協定を締結し、7月9日、役場庁議室で調印式が行われました。

この協定は、町が推進する基幹産業の農業・漁業の発展や移住・定住促進を目的にした「長島人口ビジョン長島版総合戦略」に基づいています。

今後は、構成機関がそれぞれの知見を活用し、創業者向けのセミナーの開催や事業者への資

金調達支援に取り組みます。調印式には川添町長ら各団体の代表者が出席しました。

川添町長は、「農業・漁業の発展、若者の定住や観光の町づくりには、各機関との連携が欠かせない。情報交換を深め、よりよい町づくりを進めたい」とあいさつしました。

日本政策金融公庫川内支店の浅沼靖司支店長は、「自治体と金融機関の提携に農漁業が加わるのは、全国でも珍しい事例である」と話しました。

協定団体は次のとおりです。長島町、東町漁業協同組合、鹿兒島いずみ農業協同組合、鹿兒島信用漁業協同組合連合会、鹿兒島相互信用金庫、北さつま漁業協同組合、長島町商工会、日本政策金融公庫鹿兒島支店、同川内支店。